

# 技術フォーラム ニュース

## 講演会：公共空間のマネジメント

日時：令和3年5月29日（土）10:00~12:00

場所：港区立新橋生涯学習センター

講師：坂井文（さかい あや）様

東京都市大学 都市生活学部教授

Ph. D、一級建築士

### 主宰者挨拶

技術フォーラム理事長 原田敬美(前港区長)

工学博士、技術士(建設部門)、一級建築士

東京都市大学教授坂井先生は、横浜国立大学卒業後JR東日本に就職、駅前周辺の開発業務に従事、その後、ハーヴァード大学デザイン大学院に留学されランドスケープ修士を取得、ランドスケープで世界的に著名なササキ事務所に就職、さらに研究を深めるためオックスフォード大学、ロンドン大学に転じ、博士号を取得されました。

帰国後北大准教授を経て現職です。実務と研究に詳しい先生です。

坂井先生の指導教官は都市計画の日本の第一人者の横浜国立大学小林重敬先生、実は原田の博士論文の審査教授です。また、ハーヴァード大学で当時都市計画



学科長はピーター・ロウで後年大学院長に就任しますが、ピーターは私がライス大学に留学した際の指導教官、というわけで、共通の二人の指導教官がおり、そのようなお付き合いでご多用の中、本日お越しいただきました。

### 講演の要旨

#### 1 はじめに

東京に広場を作りたいという思いでJR東日本に就職し、さらに米国ササキアソシエーツ事務所で公共空間の設計実務に従事、「パブリックとは何か」に興味を抱きました。

社会システムと景観形成を研究している先生のロンドン大学にて博士号を取得しました。

公共空間マネジメントは建築と都市をまたぐものです。



#### 2 ニューヨーク、ロンドンの公共空間発展の背景

ニューヨークもロンドンも80年代、環境悪化で都心の住民が郊外に転出し人口減少し、課題である都心の人口回復のため都市環境の改善が促進され、公共空間の快適化、安全化も進みました。

ロンドンのキングスクロス開発は鉄道ヤードのオフィス、住宅、大学の複合開発です。開発当時はヨーロッパ最大規模で、レンガ造りの古い建物を残し、新たな建築を増築しています。駅に近い地区はオフィス街とし、緑と水の公共空間に自由に動かせるテーブルと椅子を配置し、多様な来街者も憩えます。



かつての工場には、ロンドン大学芸術学科を誘致、前庭や周辺の公共空間には、ランチタイムにオフィスワーカーが、また住宅の子供が楽しんでいます。

イギリスでは 1997 年労働党政権の時、都心の活性化対策のため、著名な建築家リチャード・ロジャース(汐留の日本テレビの基本設計者)が政府から依頼され、1999 年都市政策提言書を提出。都市居住を促進するためデザインが重要とし、サステナブルな開発のためデザインの質の高さは都市計画と不可分と提言し、都市計画政策ガイドラインをまとめ、デザインの曖昧性を無くすため7つの言葉で明確に表現しました。

当時のイギリスの建設業を巡る課題に関するレポートには、次のような点も指摘されていました。地方分権による自治体業務や、許可申請の長期化、政府の建設投資に関わる課題です。

建築・都市に関わる技術・情報提供を行う CABE の設立は、開発審査短縮のための仕組みや、PFI(民間活力、イギリスで始まった)による事業の質の確保への取組みであり、こうした課題への対応ともいえます。2012 年のロンドンオリンピック会場整備の際には、CABE のデザイン審査が行われました。

「全体のデザイン」「持続可能性」「平等多様性」「インクルーシブデザイン(ユニバーサル)」の観点から CABE が審査しました。

一例として、サステナブルデザインの観点で8万人収容のスタジアムは、オリンピック終了後、規模の縮小に対応できるフレキシブルなデザインとし、アクセスの観点からゼロフラット(障がい者のため)としました。



2004 年にイギリスに BID(ビジネスインプローブメントディストリクト)が導入され、中心部のレストラスクエアの再編などが進められ、街に開かれた公園へと生まれ変わりました。



アメリカでは、BID はニューヨーク市で 70、全米で 1000 あります。典型例はマンハッタン中心部にあるブライアント公園、以前は麻薬密売の拠点で一般市民、観光客は寄り付かない場所でしたが今や観光名所。組織の収入はイベント料役 50%、レストランから 17%、BID9%等で運営しています。公園の整備後、周囲のオフィスの付加価値も高まりました。

### 3 日本の公共空間マネジメント

日本の先進的な事例として大丸有(大手町、丸の内、有楽町)の一体なデザインによる楽しい都市空間の実現と、運営組織エリアマネジメント協議会による行政と民間の間の調整役についてです。

例えば、国家戦略特区の道路占用許可の特例を受けて道路空間の利活用をすすめました。これは新宿、大崎、蒲田、自由が丘、日本橋、池袋東などの事例にも展開しています。2018 年地域再生法の中では、地域再生エリアマネジメント負担金制度も創設されました。

公共空間のうち公園については、豊島区の南池袋公園では、区長の今までにない公園を作るという理念の下、明るい死角がない全体を見渡せる安心な公園を住民参加で造りました。

民間が、行政とともに公園の再整備や運営、道路の利活用に加わり、居心地の良い歩きたくなるような街が今後すすむとよいと思います。

(了)

## 地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

### ◎ 特定非営利活動法人(NPO 法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO 法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
  - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
  - ② ホームページ、メールによる情報提供
  - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

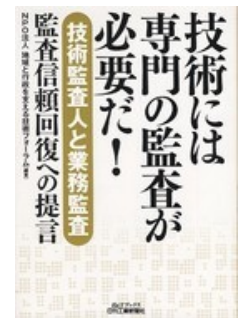
### ◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

### ◎ 十数年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。このため、他に類を見ない膨大な実績を有しております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



NPO 法人地域と行政を支える技術フォーラム 編著

### ◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

## ◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

## ◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「性能仕様書による発注業務の劇的な改善」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

## ◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

### 編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。この秋季号では、「欧米の建築設計の発注方式の実情と日本の今後の発注方式を考える」を特集致しました。これは、令和元年8月に開催した講演会における、当フォーラムの原田敬美理事長による講演内容です。

ニュースレターのバックナンバーは、URL(<http://www.efasca.jp/forum.htm>)でご覧頂けます。

今後とも、皆様方の声をもとに講演内容を考えていきたいと存じます。これからの講演内容についてのご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール [info.efasca@efasca.jp](mailto:info.efasca@efasca.jp)

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美